

環 境 報 告 書

令和5年11月報告

ふりがな	まつもとどけんかぶしがいしゃ		認定 ランク	☆☆☆	
事業所名	松本土建株式会社				
概 要	所在地	長野県松本市大字島立 635 番地 1			
	代表者名	大池 太士			
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	事業内容 総合建設業（土木・建築工事） 不動産取引業（不動産賃貸・売買） 指定管理事業（長野県及び松本市の施設管理運営） 太陽光発電事業（ソーラーファーム空港西発電所） 従業員数 131名（男性：114名 女性：17名）			
	担当者	所属	土木営業部	氏名	高山 匡弘
	連絡先	電話	0263-47-9302	FAX	0263-48-5544

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	(別紙1参照)
環境に関する取組目標	(別紙2参照)

具体的な取組内容

1. 省エネルギーの推進
 - ① クールビズ・ウォームビズの実施
 - ② 空調の設置温度を冷房時 28 度・暖房時 18 度とし適正化を実施
 - ③ 就業前及び昼休み時については、照明電気を消して節電を実施
 - ④ 社屋の照明器具を順次、LED照明に変更している
 - ⑤ 計画的にエネルギーを減量できている（別紙 2 参照）
2. エコなエネルギー利用
 - ① 引き続き太陽光発電所の運営
3. 自動車利用の抑制・効率化
 - ① 従業員に対するエコ通勤の啓発活動の実施
 - ② 自動車の燃費を管理し改善している（別紙 3 参照）
 - ③ 次世代自動車の導入実施（別紙 4 参照）
(全車両台数 95 台 次世代自動車数 18 台 導入率 19%)
4. ごみの発生抑止
 - ① 簡易包装の実施
 - ② 従業員に対する買い物袋持参を促す啓発活動の実施
5. ごみ減量の推進
 - ① ごみ減量計画書を作成し従業員に周知啓発の実施
 - ② ごみ量を把握し減量ができている（別紙 2 参照）
6. 食品ロスの削減
 - ① 30・10 運動の実施（「残さず食べよう！」推進事業所登録）
(別紙 5)
 - ② 社内での啓発活動の実施（ポスター）
7. リサイクルの推進
 - ① 両面印刷や裏紙の利用で紙の使用量削減を実施
 - ② 社内文書を電子化し、紙の削減を実施している
8. グリーン購入の推進
 - ① 積極的にグリーン購入製品の使用を実施
 - ② 会社全体で購入する製品の内、グリーン購入製品が 7 割以上になっている（別紙 6 参照）

9. 地産地消の推進

- ① 引き続き農林業活動への支援の実施（分収育林）

10. 廃棄物の適正処理

- ① 一般廃棄物処理は専門会社へ依頼し産業廃棄物についてはマニフェストを運用し保管、管理を実施している
- ② 引き続き自社から出る廃棄物の種類を把握し、従業員に対して処理方法の周知を実施している

11. 自然環境の保護

- ① 自然や生物多様性に配慮して施工している（別紙7参照）

12. 生物多様性の確保

- ① ボランティア活動によるアレチウリ等の外来駆除を実施している
（令和元年6月25日実施 別紙8参照）

13. 自然とのふれあいの促進

- ① 自社の人材で自然観察会を実施している
（令和4年11月23日実施 別紙9参照）

14. 緑化の推進

- ① 花いっぱい運動（花守の会）を実施して参加をしている
（令和4年実施 別紙10参照）

15. 美化の推進

- ① 会社周辺のごみ拾いを毎朝、実施している

16. 水辺の保全

- ① 河川清掃を実施している
（令和4年5月実施 別紙11参照）

17. 教育環境の実施

- ① 地元の高校生の現場見学会の中で環境教育を実施している
（令和4年5月11日実施 別紙12参照）

<p>実施結果（成果）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギーの削減 <ul style="list-style-type: none"> ① 電気使用量及びガソリン使用量・軽油使用量及び水道水使用量については目標を上回る成果であった ● 自動車利用の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ① 燃費改善については対目標比率 96.63%と目標を下回った ② 次世代自動車の導入は今後さらに進めていきたい ● ごみの減量 <ul style="list-style-type: none"> ① 一般廃棄物の削減は対目標比率 94.40%と目標を上回る成果であった ● グリーン購入の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① グリーン製品購入の推進は 72.2%と対目標比率を上回る成果であった <p>その他の項目についてはボランティア活動によるアレチウリの駆除であったり、地元の高校生に環境教育を行ったりと、社員一人一人が今まで以上に環境であったりエコ活動への積極的な参加など意識が向上していると感じています</p>
<p>課題・問題点と その改善に向けた取組み</p>	<p>社員の環境に対する意識向上で概ね目標を達成できた。 今以上に節電機能の高い設備の導入を引き続き検討したい。又、ガソリン使用量については、遠方の工事受注などが多い年などは、なかなかガソリンの使用量が減少しない為、エコドライブの徹底、通勤のためのカーシェアリング、次世代自動車の導入等を検討したい。</p>
<p>その他、 アピールポイント等</p>	<p>当社経営理念でもある「誇りある企業として地域社会に貢献し、もって全ての人たちの幸せの実現に寄与する。」を念頭に、社員一人一人が身近な環境問題（ごみの削減、エネルギーの削減 等）に取り組んでいく中で、自然環境の改善、更には地球環境が少しでも良くなっていくような企業を目指し今後も活動を継続していきたい。</p>

環境目標値

項目	単位	実績値				平均値	目標値
		76期	77期	78期	79期		
エネルギーの削減							
電力使用量	kw	133,527	127,702	117,186	111,124	122,384.75	122,384.75 以下
ガソリン使用量	ℓ	55,747.40	52,322.95	52,186.92	46,967.42	51,806.17	51,806.17以下
軽油使用量	ℓ	18,467.40	13,852.00	11,791.25	14,943.96	14,763.65	14,763.65以下
水道水使用量	m ³	537.00	499.00	464.00	429.00	482.25	482.25.以下
自動車利用の効率化							
自動車の燃費改善	km/l	13.98	13.87	12.91	13.28	13.51	13.51以上
次世代自動車の導入	%	19.39	19.39	19.39		—	10%以上
ごみの減量							
一般廃棄物の削減	kg	3,748.90	3,672.80	3,107.70	3,266.10	3,448.88	3,448.88以下
グリーン購入の推進							
グリーン製品購入の推進	%	70.2	70.9	76.5	71.5	—	70%以上

※平均値及び目標値は小数点第三四捨五入

※目標値については76期(平成30年6月1日～令和元年5月31日)、77期(令和元年6月1日～令和2年5月31日)、78期(令和2年6月1日～令和3年5月31日)、79期(令和3年6月1日～令和4年5月31日)の平均値とし、対目標比率を+2%までは合格とする。
(ただし、次世代自動車の導入率及びグリーン製品購入率は目標値以上とする。)

環境実績値

項目	単位	目標値	80期	対目標比率	判定
エネルギーの削減					
電力使用量	kw	122,384.75 以下	116,369.00	95.08%	○
ガソリン使用量	ℓ	51,806.17以下	50,054.40	96.16%	○
軽油使用量	ℓ	14,763.65以下	13,067.14	88.50%	○
水道水使用量	m ³	482.25.以下	466.00	91.70%	○
自動車利用の効率化					
自動車の燃費改善	km/l	13.51以上	13.32	96.63%	○
次世代自動車の導入	%	10%以上		—	○
ごみの減量					
一般廃棄物の削減	kg	3,448.88以下	3,264.10	94.40%	○
グリーン購入の推進					
グリーン製品購入の推進	%	70%以上	72.20%	—	○

※80期(令和4年6月1日～令和5年5月31日)

(別紙 2)

【松本土建株式会社 環境方針】

松本土建株式会社は地域密着企業として、「人と自然の共存」をモットーに、当社の企業活動が長野県の自然環境、更には地球環境と深く関連していることを認識し、持続可能な循環型社会形成のため、環境問題に対する自主的な取り組みと、その継続的な改善を経営の重大な課題の一つと位置付けています。

1. 当社は、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的及び目標を設定し、環境保全活動を推進し、汚染の予防に努めます。
 - (1) 営業段階において
 - ・顧客の環境要求事項の確認に努めます。
 - ・当社の環境関連情報の伝達に努めます。
 - (2) 設計段階において
 - ・環境に関する提案活動に努めます。
 - (3) 施工段階において
 - ・建設副産物の再資源化に努めます。
 - ・工事周辺環境の保全に努めます。
 - (4) オフィス業務において
 - ・エネルギーの削減に努めます。
 - ・資源消費の抑制に努めます。
2. 環境関連の法規制、業界の行動規範および社内自主基準などを遵守します。
3. 環境教育、広報活動などにより全従業員の環境方針の周知徹底と環境保全の意識向上に努めます。
4. 協力会社に環境保全への積極的な理解と協力を求め、支援に努めます。

2016年11月14日

松本土建株式会社
代表取締役 大池太士

(別紙 1)

ハイブリッド車両 一覧

番号1	番号2	番号3	車番4	車名	部署等	使用者
松本	301	す	1192	カムリ	管理	黒岩 信幸
松本	301	そ	1271	カムリ ハイブリッド	管理	中條 孝一
松本	501	む	2046	アクア	建築	花岡 伸明
松本	300	ゆ	2278	HS250h	建築	池田 稔
松本	330	ね	2737	クラウン	管理	関谷 隆春
松本	301	そ	3254	カローラツーリング	土木	北澤 明
松本	301	そ	3255	カローラツーリング	建築	青柳 健生
松本	300	る	4709	プリウス	建築	上條 利明
松本	300	る	5912	CH-R	土木	石川 博宣
松本	501	ま	6353	スズキ スイフト	土木	櫻井 祐一
松本	300	ゆ	6523	プリウス	建築	高山 正春
松本	501	み	7266	アクア	建築	犬飼 治
松本	300	ら	7596	プリウス	建築	柳沢 強
松本	300	や	7745	プリウス	管理	総合管理本部
松本	300	や	7746	プリウス	指定	御子柴 寿朗
松本	300	ら	8073	カムリHybrid	土木	清水 敏行
松本	301	そ	5450	マツダ3 クリーンD	土木	高山 匡弘
松本	301	そ	5451	マツダ3 クリーンD	建築	平岡 亮

全台数95台/ハイブリッド車18台=19%

(別紙4)

～すすめよう！30・10運動～

認定番号 事-第001号

認定証

「残さず食べよう！」推進事業所

松本土建株式会社 様

貴事業所は、食品ロス削減の取組みを推進し、
環境に配慮していると認められるため、松本市「残
さず食べよう！」推進事業所として認定します。

<取組内容>

- 残さず食べよう！30・10運動の実践
- 残さず食べよう！30・10運動等について
の事業所内における周知又は啓発



平成28年 8月29日

松本市長 菅 谷 昭



事務用品集計表

購入期	購入数	グリーン商品 購入数	購入率(%)
74期 H28.6 ~ H29.5	429	309	72.0%
75期 H29.6 ~ H30.5	501	352	70.2%
76期 H30.6 ~ R1.5	616	437	70.9%
77期 R1.6 ~ R2.5	698	490	70.2%
78期 R2.6 ~ R3.5	799	612	76.5%
79期 R3.6 ~ R4.5	507	363	71.5%
80期 R4.6 ~ R5.5	835	603	72.2%
81期 R5.6 ~ R6.5			

自主事業報告書

No.	22-19
事業名	ゴミ拾いボランティア
実施時期	令和4年5月14日、7月23日、12月3日
実施場所	園内
実施主体	TOY BOX
事業の趣旨、内容	趣旨: 地域の方の力を借りながら公園美化に協力をしてもらう。 また、公園内を自由に散策しながらゴミ拾いをしてもらい、健康増進や拡張部の認知度向上につなげる。 内容: 家族広場を集合場所とし、1時間程度公園内を自由に散策しながらゴミ拾いをしてもらう。終了後はお茶を飲んで自然を満喫してもらう。
対象者、参加人数	参加者 延べ 44 人
参加料徴収の有無、金額	無し
実施状況	計 3 回実施し、毎回 10 人以上の方がボランティアに参加していただいた。中には毎回参加して下さる方もいて、公園への関心の高さがうかがえた。





アルプス公園 ゴミ拾い イベント(仮) 活動の記録



回数

第**4**回



開催日

2022/12/3(SAT)



参加人数

13人



活動時間(分)

60分



拾ったゴミの量(kg)

9kg

参加者

平均歩数(歩/1名)

4,280歩

今までの累計



総回数

3回



延べ参加人数

54人



拾ったゴミの総量(kg)

30.8kg



総活動時間(分)

180分



平均総歩数(歩/1名)

11,789歩

自主事業報告書

No.	22-20
事業名	アルプス公園の春を楽しもう！
実施時期	令和4年5月30日
実施場所	南入口駐車場～山の神～花の丘
実施主体	主催：自然観察の会ひこばえ、 TOY BOX
事業の趣旨、内容	趣旨：季節ごとの里山の様子をより多くの方に楽しんでもらい、公園に親んでもらう。 内容：公園内を散策し、そこで見つけた生き物や植物の観察を行う。
対象者、参加人数	自然観察の会ひこばえ会員および一般利用者 8人
参加料徴収の有無、金額	無し
実施状況	公園内を歩きながら、生き物や植物の観察を行った。新緑の季節を迎え、前年の秋の観察会からの参加者は、季節の移ろいを感じていた。



自主事業報告書

No.	22-22
事業名	アルプス公園の秋を楽しもう！
実施時期	令和4年11月23日
実施場所	森の入口休憩所～小鳥と小動物の森
実施主体	主催：自然観察の会ひこばえ、 TOY BOX
事業の趣旨、内容	趣旨：季節ごとの里山の様子をより多くの方に楽しんでもらい、公園に親んでもらう。 内容：公園内を散策し、そこで見つけた生き物や植物の観察を行う。
対象者、参加人数	自然観察の会ひこばえ会員 9人
参加料徴収の有無、金額	無し
実施状況	生憎の天気となったが、公園内を歩きながら生き物や植物の観察を行った。観察会を終えた後は、事前に対り取ったクズ等を利用してリースを作った。参加者は思い思いの飾りつけをし、素敵な作品ができあがっていた。





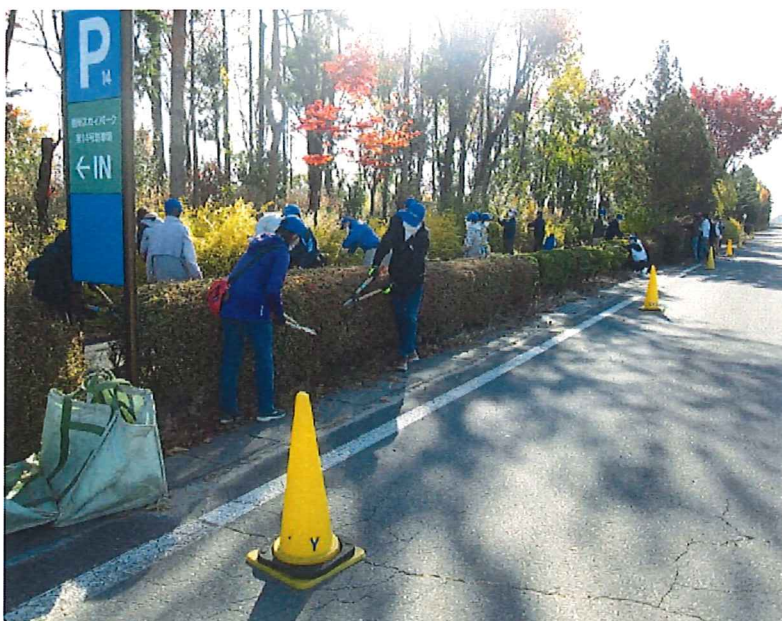
令和4年6月25日
花守の会 実施状況



令和4年7月23日
花守の会 実施状況



令和4年10月1日
花守の会 実施状況





アレチウリ駆除ボランティア

実施日：R1.6.25（火）

13：00～16：30



アレチウリ駆除ボランティア

実施日：R1.6.25（火）

13：00～16：30



アレチウリ駆除ボランティア

実施日：R1.6.25（火）

13：00～16：30



アレチウリ駆除ボランティア

実施日：R1.6.25（火）

13：00～16：30



アレチウリ駆除ボランティア

実施日：R1.6.25（火）

13：00～16：30



アレチウリ駆除ボランティア

実施日：R1.6.25（火）

13：00～16：30

創意工夫社会性等に関する実施状況

工事名	上大妻護岸緊急復旧工事		番号	9
項目	創意工夫	評価内容	地域への貢献等	
提案内容	清掃、ゴミ拾い			
(説 明)				
現場周辺の清掃、ゴミ拾いを実施した。				
(添付図)				
				
【清掃、ゴミ拾い】				
				
【清掃、ゴミ拾い】				

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

創意工夫社会性等に関する実施状況

工事名	上大妻護岸緊急復旧工事		番号	10
項目	創意工夫	評価内容	地域への貢献等	
提案内容	地元高校生に対する現場見学会			
(説明)				
<p>地元高校生を対象に現場見学会を実施した。普段の授業では体験できない大型のバックホウや重ダンプを実際に操縦することで、大きさに圧倒され喜んでいる様子であった。また、「測量機器やドローン等、最新の技術が使われているということに驚いた」など、多くのポジティブな意見が多く、当社だけでなく土木業界に良いイメージを持ってもらうことができた。事前打合わせで、高校生は進路について、先生方はコロナ禍の授業の在り方についての不安があるとの意見を頂いていただけに、今回は予想を超える反響を頂いた。</p>				
(添付図)				
				
【重ダンプ運転】		【ドローン操作説明】		
				
【質問タイム】		【全員で記念撮影】		

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。